



地域をキャンパスに 観光地や中山間地などを訪ねる 地域課題演習

新2年次生の皆さんへ 新しい演習科目が始まります

広島市立大学が立地する広島市は約119万人が暮らす都市です。近隣には、さまざまな個性をもった自治体があり、相互に交流を行っています。これらの市や町が一体となって、人口240万人を超える大きな経済・生活圏域を形成しています。



この圏域＝地域は、温暖な気候で暮らしやすく、賑わいのある都市部をはじめ、美し

く豊かな海や田園、里山といった多彩な環境を擁しています。著名な観光地もあり、人の往来も盛んで、産品も豊富です。人口の減少や高齢化などの共通の社会状況にありながらも、それぞれの環境を活かし、地域を元気にし、活性化しようとする取組が行われています。

地域の魅力を知ろう

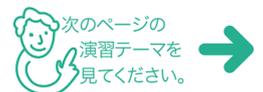
本学では、平成29年度から、この地域を視野に置いた「地域課題演習」を、2年次生を対象に開講します。グループで各地を訪ね、多様な地域資源や、それらを活かした動きなどを知り、現地での体験を通して、自らが見つけた課題を考察します。

大学での学習は、キャンパス内での講義や研究・制作だけではありません。この演習は、一定のテーマのもとに、地域につい

て事前の学習を行った後、現地に出かけて行き、体験や活動を行います。人々とのコミュニケーションもあり、思わぬ発見もあるかもしれません。それらのことにより、気づきや問題意識が生まれます。何をどう感じるかは、個人によって様々ですが、グループでの議論によって、地域をよりよくしていくための提案などを導き出していき、全員で共有します。

そうしたプロセスによって、「この地域の魅力」を少し深く知り、良さを実感してもらうことが演習のねらいです。同時に、行動力や考察力、グループワークといった力を、楽しみながら養うことにもつながるでしょう。

演習のテーマは10通り。その中から選択してください。地域と出会う、ちいさな旅(サイトビジット)が待っています。



演習という名のちいさな旅 “Sitevisit”

平成29年度 新規開講 「地域課題演習」のテーマ

全学共通系科目—広島科目
履修対象2年次 1単位
各自がテーマを選択し、グループで学習を進めます。
(希望者が3人に満たないテーマは実施しません)



行き先 **呉市** など



広島県立総合技術研究所 水産海洋技術センター提供
瀬戸内の水産と魚の楽しみ方を知る

行き先 **竹原市・大久野島**



瀬戸内の島をPRする観光映像を作る

行き先 **尾道市**



しまなみ海道を自転車で走って行動情報を収集する

行き先 **広島市**



中島町・基町ツアー

行き先 **広島市**



都市河川の活用と水遊体験

行き先 **安芸高田市** など



中山間地域の食文化とライフスタイルを知る

行き先 **廿日市市・宮島**



宮島の歴史文化を知り、観光地としての今を考える

行き先 **山口県 上関町**



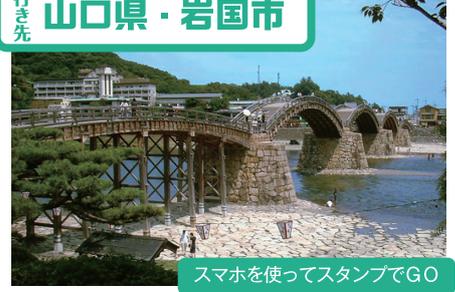
半島地域の自然・歴史・味を感じる

行き先 **尾道市**



尾道の歴史や文化を探訪する

行き先 **山口県・岩国市**



スマホを使ってスタンプでGO

「地域貢献特定プログラム」の科目を拡充

新規講座も始まりませ

COC+の地域志向型教育カリキュラムとして、昨年度設定されたこのプログラムは、観光や地域再生など、地域の「今」に密着した講義や、学外での実践的な演習を選択履修することができる科目群です。1年次から4年次まで段階を踏んで、広島を「知る」「感じる」「問う」「挑戦する」過程を学習できるよう組み立てられています。

このプログラムに、平成29年度から専門科目が9科目追加されました。また、2年次生に新たに開講される科目として、全学共通系科目では「地域課題演習」のほかに「地域再生論入門」、学部専門教育科目では「地域再生論」「観光情報学」が始まります。

■「地域貢献特定プログラム」の認定要件
右上の表のAからDを含めて8単位以上取得した者を、地域貢献特定プログラム修得者として認定する。

- A 「総合科目」群から2単位以上
- B 「広島科目」群から2単位以上
- C 「地域課題演習」又は「地域実践演習」から1単位以上
- D 学部専門教育科目において別途定める「地域志向科目」群から2単位以上



平成29年度地域貢献特定プログラム

平成29年度から対象科目として追加

科目区分	地域貢献特定プログラムの区分	授業科目名	単位数	開設年次・学期	
全学共通系科目	総合科目	[新]地域再生論入門	2	1・2年・前期	
		創作と人間	2	1・2年・前期	
		NPO論	2	1・2年・前期	
	広島科目	B	広島の観光学	2	1・2年・後期
			ひろしま論	2	1・2年・後期
		C	広島の産業と技術	2	1・2年・後期
国際学部 専門教育科目	D	[新]地域再生論	2	2・3年・後期	
		非営利組織論Ⅰ	2	2年・前期	
		非営利組織論Ⅱ	2	2年・後期	
		交通論	2	2年・前期	
		スポーツ文化経営論	2	2年・後期	
		フィールドワーク論	2	2年・後期	
	C	[新]地域課題演習※	1	2年次	
		[新]専門演習Ⅰ(地域実践演習)※	1	3年・前期	
	情報科学部 専門教育科目 (学部共通科目)	D	[新]観光情報学※	2	2・3年・前期
			インターンシップ	2	3年次
C		[新]地域実践演習※	1	3年次	
		[新]専門演習Ⅱ(地域実践演習)※	1	3年・後期	
芸術学部 専門教育科目	D	アートマネジメント概論	2	2年・後期	
		造形応用研究Ⅰ	2	2・3・4年次	
		造形応用研究Ⅱ	2	3・4年次	
		[新]地域実践演習※	1	3年次	
	C	[新]地域実践演習※	1	3年次	

※は平成28年度入学生対象新規科目

カリキュラムシーケンス

	1年次(H28年度開始)	2年次(H29年度開始)	3年次(H30年度開始)	4年次(H31年度開始)	卒業時(H32年3月)
全学共通系科目 総合科目群	1.[知る] ■ 創作と人間 ■ NPO論 ■ 広島の観光学 ■ ひろしま論 ■ 広島の産業と技術	1.[知る] ■ 地域再生論入門 2.[感じる] ■ 地域課題演習			「ひろしま地域リーダー」の認定
国際学部 専門教育科目		3.[問う] ■ 地域再生論 ■ 非営利組織論Ⅰ・Ⅱ ■ 交通論 ■ スポーツ文化経営論 ■ フィールドワーク論 ■ 経営史	■ 専門演習Ⅰ・Ⅱ(地域実践演習)	4.[挑戦する] ■ 卒業論文	
情報科学部 専門教育科目		■ 観光情報学	■ 地域実践演習 ■ インターンシップ	■ 卒業論文	
芸術学部 専門教育科目		■ アートマネジメント概論	■ 地域実践演習 ■ 造形応用研究Ⅱ ■ 造形応用研究Ⅰ	■ 卒業制作	

【紹介】新規開講科目(前期)

近隣の最新事例から学ぶ「地域再生論入門」
(全学共通系科目)



佐藤俊雄 特任教授

今、都市部や中山間地域などの各地で、地域資源を活かして人々が連携し合い、既存の枠を超えた発想や工夫によって、様々に地域の再生が進められています。持続性のある地域づくりのために何が行われているか。その取組を中心に学習します。

観光をテーマに情報技術の活用を学ぶ「観光情報学」
(専門教育科目・集中講義)



石野亜耶 非常勤講師
(広島経済大学経済学部ビジネス情報学科 准教授)

観光学と情報学を組み合わせた、新しい学問分野の講義です。観光情報学の基礎を学び、演習ではCOC+の対象地域の観光関連データベースを用いて、情報の収集や観光地のイメージ分析など実践的な学習を行います。

地域志向科目の単位互換を開始

6校の17科目が履修できます

COC+大学である本学と参加校8校が、平成29年1月に、新しく「COC+事業参加大学間の単位互換に関する協定」を締結しました。これにより、各大学等が開講している授業科目の内、特に、地域に関連した科目（地域志向科目）を中心に、学生が相互に受講できる機会が増えることになりました。



若者が挑む広島のみちの賑わいづくり

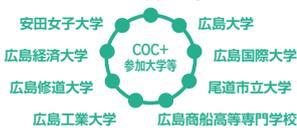
基町プロジェクトを紹介する展示会を開催しました。COC+の一環として地域での教育研究事業として取り組んでいる「基町プロジェクト」の活動状況を報告する展示会を、広島市立中央図書館で開催しました（期間2月25日～3月24日）。地域の高齢化や、商店街の衰退などの地域課題に対して、若者が主体となって、文化芸術活動や地域交流によるまちの賑わいづくりに取り組んでいます。新聞やテレビでも取り上げられ、会期中、約1750人の来場者がありました。



事業の概要



9校が連携



広島市立大学COC+地(知)の拠点大学による地方創生推進事業 地域に定着し貢献する人材の育成

育成を目指す人材像

- 地域の特性や課題を理解している
- 総合的視野から企画できる
- ネットワークを形成、調整できる
- 専門性を効果的に発揮できる



対象地域は、広島広域都市圏の市町と尾道市の25自治体

広島市立大学の人材育成のためのカリキュラム

広島を「知る」「感じる」「問う」「挑戦する」

- 1 地域志向の教育カリキュラムを実施**
広島の観光学、地域再生論入門、地域課題演習など多彩に開講
- 2 観光関連データベースの構築**
集積した観光情報を教育研究や観光の振興に活用
- 3 参加大学等が協働し教育研究事業を実施**
学生による各地でのアートプロジェクトや地域活動など
- 4 インターシップの強化**
地元企業の魅力を知る機会を増やす取組など

事業テーマ＝地域の観光振興・活性化

学生の地域内就職率の向上を目指す

事業協働機関

(大学等9校) 広島市立大学、広島大学、尾道市立大学、広島経済大学、広島工業大学、広島国際大学、広島修道大学、安田女子大学、広島商船高等専門学校
(自治体25市町) 広島市、呉市、竹原市、三原市、尾道市、大竹市、東広島市、廿日市市、安芸高田市、江田島市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸太田町、北広島町、大崎上島町、世羅町、岩国市、柳井市、周防大島町、和木町、上関町、田布施町、平生町
(経済団体・企業・NPO法人32機関) 中国経済連合会、広島商工会議所、広島経済同友会、広島県経営者協会
オタフクソース(株)、(一社)尾道観光協会、呉信用金庫、(株)グリーンヒルホテル尾道、(公財)コミュニティ未来創造基金ひろしま、山陽工業(株)尾道国際ホテル、(株)中国新聞社、西中国山地観光施設等連絡協議会、日工(株)、(株)ハイエレコン、(公財)広島観光コンベンションビューロー、(株)広島銀行、広島市信用組合、(公財)広島市文化財団、広島信用金庫、広島電鉄(株)、(株)広島東洋カーブ、広島日野自動車(株)、(公財)広島平和文化センター、(株)福屋、(株)プリンスホテル グランドプリンスホテル広島、(株)ホテルグランヴィア広島、(株)ホライズン・ホテルズ ANAクラウンプラザホテル広島、マツダ(株)、(株)もみじ銀行、(株)山本屋、特定非営利活動法人キャリアプロジェクト広島、特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター (企業等・NPO:五十音順)

COC+とは?

COCはセンター・オブ・コミュニティの略称。「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」は、地方への人の集積を目的に、大学・自治体・企業等が協働して、地域に定住し、貢献していく人材を育成する取組への文部科学省の補助事業。

【編集発行】広島市立大学社会連携センター
〒731-3194 広島市安佐南区大塚東三丁目4番1号
TEL 082-830-1542 FAX 082-830-1555
<http://www.cocplus-hiroshima-cu.com/>

